

キャリア形成科目

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリアデザイン I		授業形態	講義・演習		授業科目区分		キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)			
担当教員名	中村 勇・キャリア形成支援センター・小クラス担当教員					補助担当者名		特任助教（予定）			
単位数	2 単位		履修年次	1		受け入れ人数		小クラス12人程度			
授業の概要	本授業では、新入生が本学で学生生活を送る上で必要不可欠な情報や知識（認知）、スキル（技能）、マナー（態度）の修得を目指すとともに、各自の将来をみすえたキャリアプランを構想するための基礎的な考え方や態度を身につけることを目的としている。具体的には大学生生活等の情報取捨、授業レポートの作成、各課題の作成や発表を行う。本授業を通して、一年次に最低限必要な情報や知識が獲得できるとともに、自己分析力や自己表現力の基礎が構築されることを期待している。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法							
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、キャリアデザイン力	授業期間				定期 試験	その他	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表					
			■認知的領域	本学の教育方針について理解できる 本学での学び方について理解し活用できる	○		○	○			45
			■情意的領域	自分自身や他学生の大学生活について興味関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ること、仲間と協力して情報を探求することができる	○		○	○			30
■技能的領域	レポート作成やプレゼンテーションの基礎的な技能を学び、表現することができる	○		○	○			25			
成績評価の基準	授業参加、レポート、プレゼンテーション、授業ノートについて評価し、6割以上を合格とします。原則として1／3以上の欠席がないこと。										
テキスト、教材 参 考 書	テキスト・教材は授業時やWebClass等で配付します										
履修条件・ 関連科目	1年次、前期に履修すること			備考(教員メッセージ含む)		●本授業は学内外から様々な講師を招いたスタイルのためシラバスで提示したスケジュールから変更する場合があります。その際は授業時、メール、WebClass上で周知します ●授業は全体で行う場合、小クラス単位で行う場合、オンライン方式で行う場合があります。スケジュール表や通知をよく確認してください。					
オフィス・アワー	キャリア支援係：月～金 9時～17時 中村勇：木曜日 12時～13時（会議等で変更あり） 小クラス担当教員の時間はそれぞれ確認すること										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	中村 勇 キャリア形成支援センター	オリエンテーション				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
2	〃	自分の強みを知る（1）				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
3	〃	健康的なキャンパスライフを送る（1）				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
4	〃	健康的なキャンパスライフを送る（2）				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
5	〃	プレゼンテーションを学ぶ（1）				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
6	〃	プレゼンテーションを学ぶ（2）				プレゼンの準備を行う（最低30分）					
7	〃	自分史を振り返る（1）				プレゼンの準備を行う（最低30分）					
8	〃	自分史を振り返る（2）				プレゼンの準備を行う（最低30分）					
9	〃	キャンパスライフを考える（1）				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
10	〃	キャンパスライフを考える（2）				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
11	〃	キャンパスライフを考える（3）				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
12	〃	自分の強みを知る（2）				授業資料を復習し次回の予習を行う（最低30分）					
13	〃	自分の強みを知る（3）				プレゼンの準備を行う（一時間程度）					
14	〃	キャンパスライフを考える（4）				プレゼンの準備を行う（最低30分）					
15	〃	まとめと振り返り				ここまでの生活を振り返り課題に取り組む（一時間程度）					

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリアデザインⅡ (121A0-3300)		授業形態	講義・演習		授業科目区分	キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)		
担当教員名	キャリア形成支援センター・金高 宏文					補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数	180名		
授業の概要	本授業では、キャリア形成に関わる基礎的・汎用的能力の段階的修得を目指すとともに、キャリアを考える上で一つの柱となる体育・スポーツにおける「専門性」（大学で何を学び、身につけるか）を考えるために、体育・スポーツにおける専門分野の知識や技能（ゼミナール情報を含む）の理解とその専門性がどのように実社会や職業で生かされていくのかについて考え、選択する力が身につくことを期待している。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	キャリアデザイン力	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
■認知的領域	・体育・スポーツの専門領域（学問・研究体系）について理解し、自分自身の研究の志向性を表現することができる。 ・自分自身の強みを表現できる。	○		○				60	
■情意的領域	・情報提供者について興味・関心を持ち、テーマについて積極的に探求できる。 ・キャリア形成について必要な情報を積極的にかつ協力的に収集できる。	○						20	
■技能的領域	・演習等で円滑なコミュニケーションを行うことができる。 ・演習等で自分自身の考えを整理し、表現できる。	○						20	
成績評価の基準	授業の取組みは、授業への積極的な準備（宿題）や授業態度及び課題に対する真摯な取組み及び説明力について（5点×8回＝40点）、課題レポート等については内容の妥当性を評価し、単位認定を行う。								
テキスト、教材 参 考 書	i-Padを持参すること。授業に必要な資料は、「WebClass」よりダウンロードすること。 参考図書は、授業時に推薦する。								
履修条件・ 関連科目	1年次であること（2年次以上の履修は原則認めない）。		備考(教員メッセージ含む)		選択科目であるが、ゼミや職業の選択を効果的に方向づける内容であるため履修することが望まれる。				
オフィス・アワー	教務課キャリア支援室へご相談ください。適宜、担当教員と連絡調整します。（月～金、9：00～17：00）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	キャリア形成支援センター 金高 宏文	オリエンテーション、体育・スポーツにおける「専門性」と職業選択との関わり（先輩の講話）				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
2	〃	体育・スポーツの専門領域等を知る①（体育科教育学、体育心理学） 将来の職業を考えるために・・・自己・他己分析から、自分の強み・弱みを考える				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
3	〃	体育・スポーツの専門領域等を知る②（体育経営管理、体育方法） 将来の職業を得るために・・・自分をアピールする（履歴書等の作成）のポイント				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
4	〃	体育・スポーツの専門領域等を知る③（運動生理学、バイオメカニクス） 将来の職業を得るために・・・大学4年間で達成すべき課題を考える①				WebClassにより復習と宿題（30分以上） レポート課題1（30点）の提出（15分以上）			
5	〃	体育・スポーツの専門領域等を知る④（測定評価、発育発達、体育社会学） 将来の職業を得るために・・・大学4年間で達成すべき課題を考える②				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
6	〃	体育・スポーツの専門領域等を知る⑤（介護福祉・健康づくり、保健、アダプテッド・スポーツ科学、体育哲学、体育史、スポーツ人類学） 将来のキャリア等を考えるために・・・資格取得を考える				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
7	〃	体育・スポーツの専門領域等を知る⑥（補足） 将来のキャリア等を考えるために・・・インターンシップ等を考える				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
8	〃	将来のキャリア等を考えるために・・・専門領域やゼミナールの選択を考える 学習の振り返り				レポート課題2（30点）の提出（15分以上）			

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリアデザインⅢ (121A0-3301)		授業形態	講義・演習		授業科目区分	キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)		
担当教員名	キャリア形成支援センター・金高 宏文・国重 徹・中村 勇					補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数	120名		
授業の概要	本授業では、キャリアデザインⅠ・Ⅱで修得した基礎的な自己分析力、自己表現力を活かし、キャリア形成に関する情報（知識）やスキル（技能）、マナー（態度）の段階的修得を目指すとともに、他者理解を促す考え方や態度を身につけることを目的とする。具体的には、上級生や社会人とのインタビューワーク（交流）と受講生によるグループディスカッション（GD）により職業選択に関わる業界情報の収集、他者の立場に応じた自己表現力（ドキュメンテーションスキル・コミュニケーションスキル等）の育成を行う。本授業を通して、大学生活におけるキャリア形成に必要な知識やマナーが獲得できるとともに、他者の立場に適応した自己表現力が構築されることを期待している。授業は12～2月で、8回開講する。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、キャリアデザイン力	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
					○				
■認知的領域	・就職活動を含めたキャリア形成の流れをインタビュー等により情報を収集し、理解する。 ・職種と業界研究ができる。							50	
■情意的領域	・同級生、上級生、OB・OG、社会人のキャリアデザインについて興味・関心を持ち、積極的に探求できる。 ・キャリア形成について必要な情報を積極的にかつ協力的に収集できる。 ・各交流会に対し、積極的かつ協力的に参加することができる。	○						50	
■技能的領域	・定められた時間内でテーマに沿った話し合いを行うことができる。 ・身近な他者の意見を聞き、状況を把握して自分の意見を言うことができる。 ・考えたり、話し合った内容を集約し、要約や感想を書くことができる。	○							
成績評価の基準	授業の取組みは、授業への積極的な準備（宿題）や授業態度及び課題に対する真摯な取組み及び説明力について（6点×7回＋8点）、課題レポート等（50点）については内容の妥当性を評価し、単位認定を行う。								
テキスト、教材 参 考 書	i-Padを持参すること。授業で必要な資料は、「WebClass」よりダウンロードすること。								
履修条件・ 関連科目	2年生以上であること		備考(教員メッセージ含む)		選択科目であるが、職業の選択、就職活動を効果的に方向づける内容であるため履修することが望まれる				
オフィス・アワー	教務課キャリア支援係へ相談ください。適宜、担当教員と連絡調整します。（月～金、9：00～17：00）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	金高 宏文 国重 徹 中村 勇	オリエンテーション GD仕事と社会について①：職種と業界・職場研究①(学外講師)				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
2	〃	仕事と社会について②：職種と業界・職場研究②(学外講師) +GD				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
3	〃	仕事と社会について③：職種と業界・職場研究③+GD				★レポート課題1（20点）提出 WebClassにより復と宿題（30分以上）			
4	〃	多様な働き方、社会でのスポーツとの関わりを考える①：（OB・OG講話1）				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
5	〃	多様な働き方、社会でのスポーツとの関わりを考える②（OB・OG・4年生講話2） +GD				WebClassにより復習と宿題（30分以上） ★レポート課題2（20点）提出			
6	〃	ビジネスマナー演習：学外講師による着こなしチェック等				WebClassにより復習と宿題（30分以上）			
7	〃	大学生の職業選択：4年生（15名程度）との交流会（インタビュー）				WebClassにより復習と復習（30分以上）			
8	〃	授業の振り返りのグループディスカッションと授業評価				WebClassにより復習と宿題（30分以上） ★レポート課題3（10点）提出			

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリアセミナー (121A0-3302)		授業形態	講義・演習	授業科目区分	キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)					
担当教員名	キャリア形成支援センター・金高 宏文・国重 徹・隅野 美砂輝				補助担当者名						
単位数	1 単位		履修年次	3年次	受け入れ人数	80名程度					
授業の概要	本授業では、制定された教育目標、カリキュラムポリシーに基づいた「キャリア形成に関わる基礎的・汎用的能力の段階的修得及び各自の進路（職業）選択に必要な情報やスキル、マナーの修得を目指すとともに、幅広い職業観が獲得できること」を目標としている。具体的には、進路選択に関する情報収集、履歴書・エントリーシートの作成・説明、採用活動動向や業界研究等に関する基礎知識の概説、基本的な面接対策（特に、プレゼンテーション）等を行う。本授業を通して、進路（職業）選択に必要な知識やマナーが獲得できるとともに、幅広い職業観を持って将来に向けて主体的に行動できることを期待している。なお、新型コロナウイルスの感染状況により、対面授業が難しいと判断した場合は、オンラインによる遠隔授業とする。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法							
	D P で 目指す 資質・ 能力	キャリアデザイン力	授業期間				定期 試験	割合 %			
			授業	テスト	レポート	発表					
		■認知的領域	・進路志望先について説明できる ・就職活動において必要な履歴書作成のポイントを理解し、自分自身の強みを効果的に説明できる。			○					50
		■情意的領域	・上級生やOB・OG、企業人等の職業選択や現在の職場状況について興味・関心を持ち、積極的に探求すること、情報を有効的に仲間と共有することができる。	○							32
■技能的領域	・与えられた期間・時間内に、プレゼンテーションの準備や発表、グループディスカッションを積極的に行うことができる。 ・授業で実施した内容の要約や、感想を書くことができる。				○			18			
成績評価の基準	授業の取組みは、授業への積極的な参加や授業内レポートの提出（4点/回×8回＝32点）、プレゼンテーション及び準備／振り返り（18点）、課題レポート等の提出（50点）に対する真摯な取組みについて総合的に評価し、単位認定を行う。（コロナの状況や授業内容に応じて、オンラインにする場合あり。オンラインになった場合は、グループやペアによるディスカッション、プレゼンテーションなども遠隔で行う。）										
テキスト、教材 参 考 書	適宜必要な資料を配付する。毎回資料を配付するが、詳しい資料は「Web-Class」より授業後にダウンロードすること。参考図書は適宜紹介する。										
履修条件・ 関連科目	履修条件：3年次以上であること。関連科目：キャリアデザインⅢ、キャリア対策セミナー、キャリアコミュニケーション		備考(教員メッセージ含む)		選択科目であるが、職業選択や就職活動を効果的に方向づけるのでは是非とも履修してください。						
オフィス・アワー	木曜日 昼休み及び12:40～13:00 国際交流センター 2階 国重研究室										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	キャリア形成支援センター 国重 徹	・授業ガイダンス（職業志望コースの調査） ・履歴書（片面）・自己PR文・志望動機の書き方			WebClassによる復習（10分）、履歴書（片面）作成（60分）、自己PR文（1回目）の作成（60分）						
2	〃	・自己PR文の発表・ブラッシュアップ ・ペアワーク and/or グループディスカッション：自己PR文の発表とブラッシュアップ			WebClassによる復習（20分）、自己PR文の修正（60分） 課題1：履歴書（片面）＋自己PR文（1回目）提出						
3	〃	・業界・職種及び志望先研究の方法（外部講師もしくは4年生の話）			WebClassによる復習（20分）、志望先を研究しレポートを作成（30分） 課題2：自己PR文（2回目：修正したもの）を提出						
4	〃	・業界・職種及び志望先について説明する ・ペアワーク and/or グループディスカッション：志望先の説明			WebClassによる復習（20分）、志望動機（1回目）を作成（60分） 課題3：志望先研究の提出						
5	〃	・面接や発表等で大切なポイント：OB・OGによる講話、Q＆A ・ペアワーク and/or グループディスカッション：志望動機の発表とブラッシュアップ			WebClassによる復習（20分）、志望動機の修正、志望動機と自己PRの発表練習（40分） 課題4：志望動機（1回目）の提出						
6	キャリア形成支援センター 金高 宏文 国重 徹 隅野 美砂輝	・発表①：ペア and/or グループで志望先、志望動機、自己PRを発表する。			WebClassによる復習（20分）、発表の練習（40分）						
7	〃	・発表②：ペア and/or グループで志望先、志望動機、自己PRを発表する。			WebClassによる復習（20分）						
8	キャリア形成支援センター 国重 徹	・ペアワーク and/or グループディスカッション演習④ ・授業のまとめ：振り返りと授業評価			WebClassによる復習（20分） 課題5：志望動機（2回目：修正したもの）を提出						

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリアコミュニケーション (121A0-3303)		授業形態	講義・演習	授業科目区分	キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)			
担当教員名	野中 千尋				補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	3年次	受け入れ人数	180名程度			
授業の概要	社会で活動するためには、主体性・多様性・協働性が必要である。これらを念頭に、互いの違いを認め合いよりよい人間関係を築き活動するためのコミュニケーション力が求められている。そのため、本授業では講義と演習をとおして、学生から社会人・組織人に至るコミュニケーションの取り方・関わり方を具体的に学んでいく。これにより、「コミュニケーションの必要性とその表現についてわかった」から、「社会人としてのコミュニケーションがとれる」を目指し、インターンシップ・実習・就職活動・就職（社会人）・アスリート・進学・留学に向けて自信をもって臨むことを期待している。								
授業の到達目標 及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	キャリアデザイン力	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
■認知的領域	・コミュニケーションの必要性と表現について理解できる。 ・理解したことを、具体的にレポートにできる。			○		○		70	
■情意的領域	・演習中、グループ内で協働性を大切にしながら意見交換をするなど積極的に取り組める。	○						10	
■技能的領域	・学内外の人と、非言語・言語のコミュニケーションをよりとれるようになる。	○		○				20	
成績評価の基準	・各回の出席兼確認シートの提出・記入状況、課題（履歴書・レポート）の提出・記入状況、積極的な授業態度・学期末試験の結果以上4点を総合的に評価し60点以上を単位認定とする。								
テキスト、教材 参 考 書	・毎回、資料を配付する予定。（各自で、綴じ込み用ファイルを準備すること。）								
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッセージ含む)		・授業時間外に、レジュメを参考に復習や実践をすること。 ・課題提出については、事前にテーマ等を連絡する。				
オフィス・アワー	質疑は、授業後若しくはwebclass内のメールにて受け付けます。 名前：野中 千尋								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	〃	授業ガイダンス（講義・演習の概要 心構え 成績評価等）・私たちに求められていること			-				
2	〃	コミュニケーションの基本① ～声と言葉で関係を作る電話応対（様々なシーンより）			レジュメを参考に実践（30分）				
3	〃	会いたくなる履歴書（履歴書作成におけるポイントの説明）			履歴書を作成（3時間）				
4	〃	社会人と学生との違い 第一印象の影響			履歴書提出・レジュメを参考に復習（30分）				
5	〃	コミュニケーションの基本② ～相手の心に寄り添う表情（様々なシーンより）			レジュメを参考に実践（30分）				
6	〃	コミュニケーションの基本③ ～心をつかむ身だしなみ（様々な業種より）			レジュメを参考に復習（30分）				
7	〃	コミュニケーションの基本④ ～心にせまる挨拶・お辞儀（様々なシーンより）			レジュメを参考に実践（30分）				
8	〃	コミュニケーションの基本⑤ ～思いが伝わる言葉づかい（様々なシーンより）			レジュメを参考に実践（30分）				
9	〃	コミュニケーションの基本⑥ ～相手に応える態度・姿勢（様々なシーンより）			レジュメを参考に実践（30分）				
10	〃	コミュニケーションの基本⑦ ～形式・ルールを抑えたビジネス文章			レポート提出・レジュメを参考に実践（30分）				
11	〃	コミュニケーションの基本⑧ ～互いを大切に名刺の受け渡し・お茶のいただき方			レジュメを参考に復習（30分）				
12	〃	コミュニケーションの基本⑨ ～次回につながる訪問の仕方			レジュメを参考に復習（30分）				
13	〃	コミュニケーションの基本⑩ ～信頼を深める報告・連絡・相談			レジュメを参考に実践（30分）				
14	〃	それぞれが拓くキャリアコミュニケーション			レジュメを参考に実践（30分）				
15	〃	コミュニケーションに活かすサービス・ホスピタリティー			レポート提出・レジュメを参考に実践（30分）				
16	〃	学期末試験			-				

授業科目名 (ナンバリングコード)	企業実習 (121A0-6300)		授業形態	実習		授業科目区分		キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)	
担当教員名	キャリア形成支援センター・金高 宏文					補助担当者名			
単位数	1～2 単位		履修年次	2～3年次		受け入れ人数		30名	
授業の概要	本実習では、自らの関心や将来の進路希望に応じて、企業、行政機関、非営利団体等の現場において就業体験を行うことによって、自己の職業適性やキャリアデザインにおける職業選択について深く考える契機となり、高い職業観や就業観の涵養や時代の変化に対応できる基礎的・汎用的能力が育成されることを期待している。実習は、原則として2年次が冬期・春期休業期間中、3年次では夏期・冬期・春期休業期間中に行うものとする。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、キャリアデザイン力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
					○	○			
■認知的領域	・訪問先の選択及び企業研究を行う（企業研究の作成）。 ・就業体験を記述・説明する（実習日誌の作成）。 ・就業体験を分析・評価する（所感文等の作成）。			○	○		○ (大学評価)	60	
■情意的領域	・事前の訪問先の選択、企業研究、実習準備を主体的、積極的に行うことができる。 ・就業体験を主体的、積極的かつ協力的に取り組むことができる。 ・実習後に就業体験について真摯に振り返ることができる。	○					○ (大学及び実習先評価)	20	
■技能的領域	・ビジネスマナー及び一般常識を身につける ・社会人との円滑なコミュニケーションを行うことができる	○					○ (実習先評価)	20	
成績評価の基準	設定された就業体験の日数に参加することを条件に、事前準備や企業研究等（30点）、実習日誌（20点）、事後報告や所感文等（20点）及び実習先の評価（30点）の各得点を合計し、60点以上のものを合格とする。								
テキスト、教材 参 考 書	本学作成の「企業実習の手引き」等を配付。 参考図書は、授業時に推薦する。								
履修条件・ 関連科目	2年次は30単位、3年次では60単位を取得していること。 2年次はキャリアデザインⅢを、3年次ではキャリアセミナー及びキャリア対策セミナーあるいはキャリアコミュニケーションを履修することが望ましい。		備考(教員メッセージ含む)		選択科目であるが、職業の選択、就職活動を効果的に方向づける内容であるため履修することが望まれる。 ○実務経験のある教員による授業科目：スポーツ関連企業等の職員が実習を担当				
オフィス・アワー	教務課キャリア支援係へ相談ください。適宜、担当教員と連絡調整します（月～金、9:00～17:00）。								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	キャリア形成支援センター 金高 宏文	オリエンテーション：企業等実習の意義・目的・内容				WebClassにより復習			
2	〃	訪問先の選択及び企業等研究				企業等研究レポートの作成			
3	〃	事前準備（履歴書の作成、挨拶状の作成、実習計画の作成：課題設定等）				事前準備の資料等作成			
4	〃	企業等実習受け入れ先等からの講話とグループディスカッション				WebClassにより復習			
5	〃	就業体験（1単位：1週間）（2単位：2週間）				実習日誌の作成、挨拶状の作成			
6	〃	就業体験の分析・評価および今後の展望				所感文の作成			
7	〃	事後報告①（就業体験の発表会等）				発表資料の作成			
8	〃	事後報告②（就業体験の発表会等）				WebClassにより復習			

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリア対策セミナー（教員） (121A0-2300)		授業形態	演習	授業科目区分	キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)				
担当教員名	森 克己・浜田 幸史・中本 浩揮・栗山 靖弘				補助担当者名					
単位数	1 単位		履修年次	3年次	受け入れ人数	100				
授業の概要	この授業では、公立学校を中心とする教員採用試験の過去問題の傾向と対策を解説することにより、教員試験に合格するための勉強方法、受講生が勉強を進める上での基本的な知識や態度を身につけることを目標とする。具体的には、採用試験の模擬問題の正答率が60%以上に高まることを期待している。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	キャリアデザイン力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
			■認知的領域	・受験希望する県や学校の採用条件や採用状況をレポートする。 ・教員採用試験の過去問題の傾向を整理する。 ・採用試験の問題を解ける。		○	○			60
			■情意的領域	・教員志望の動機やその仕事の意味・意義について自分なりの答えを持てるようになる。 ・採用試験に向けた継続的な学習態度を身に付ける。	○		○			40
□技能的領域										
成績評価の基準	授業の取り組みは学習コメントと参加状況（毎回5点×8回＝40点）、課題レポート（10点）、模擬テスト（50点）の達成度を総合的に評価し、単位認定する。									
テキスト、教材 参 考 書	テキストは、『教員採用試験（よくわかる）教職教養 基礎基本 完全マスター』（東京アカデミー、1,000円）『オープンセサミシリーズ 2022年度教員採用試験ステップアップ問題集⑧中学・高校保健体育』（東京アカデミー、1,680円）。参考図書として、2022年度版教員採用試験Twin Books完成シリーズ「教職教養の要点理解」（時事通信社1,400円）・同完成シリーズ②「教職教養の演習問題」（時事通信社1,400円）、Basic定着シリーズ「よくわかる中高保健体育」（時事通信社1,680円）、月刊「教員養成セミナー」（時事通信社）、月刊「教職課程」（協同出版）を薦める。									
履修条件・ 関連科目	「キャリアセミナー」「キャリアコミュニケーション」を受講し、教職関連科目を受講すること。		備考(教員メッセージ含む)		必ず予習・復習をすること。					
オフィス・アワー	森：水曜日の午後（5 0 8 研究室）									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	森 克己	「キャリア対策セミナー」受講ガイダンス及び事前の模擬テスト(教職教養と専門教養)			参考書・資料等の予習（30分以上）					
2	浜田 幸史	専門教養（保健体育、学習指導要領）の過去問題の傾向と対策			参考書・資料等の予習・復習（30分以上）					
3	森 克己	教職教養（教育法規）の過去問題の傾向と対策①			参考書・資料等の予習・復習（30分以上）					
4	栗山 靖弘	教職教養（教育原理・教育史）の過去問題の傾向と対策①			参考書・資料等の予習・復習、課題レポート（10点）の作成（60分以上）					
5	〃	教職教養（教育原理・教育史）の過去問題の傾向と対策②			参考書・資料等の予習・復習（30分以上）					
6	中本 浩揮	教職教養（教育心理）の過去問題の傾向と対策、交流授業			参考書・資料等の予習・復習（30分以上）					
7	森 克己	小論文（いじめ、不登校、保護者対応）の過去問題の傾向と対策			参考書・資料等の予習・復習（30分以上）					
8	中本 浩揮	模擬テストとその解説（教職教養・専門教養）			参考書・資料等の予習・復習（30分以上）					

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリア対策セミナー（一般企業） (121A0-2301)		授業形態	演習		授業科目区分	キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)		
担当教員名	隅野 美砂輝・金高 宏文・国重 徹					補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数	60名程度		
授業の概要	この授業は、企業で働くことを志望する学生を対象に、企業に関する知識、採用試験への対策、社会人基礎力等を高めることを目指して実施する。毎時の課題レポート提出、プレゼンテーション、グループワーク等を柱に、キャリアデザイン力や一般教養・倫理が身につくことを目指す。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D P で 目指す 資質・ 能力	キャリアデザイン力、一般教養・倫理 (コミュニケーション力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
					○				
■認知的領域	・受験希望する企業や業界の特性や採用条件や状況を理解する。 ・企業の採用試験の過去問題の傾向を理解する。							56	
■情意的領域	・志望の動機やその仕事の意味・意義について自分なりの答えを持てるようになる。 ・採用試験に向けた継続的な学習態度を身に付ける。	○						24	
■技能的領域	・一人でのプレゼンテーション、集団での討論や意見交換ができるようになる。				○			20	
成績評価の基準	授業の取り組みは学習コメントと参加状況（3点×8回＝24点）、採用試験で求められる知識・態度の獲得度は課題レポート（7点×8回＝56点）、グループ面接等（20点）の成績の達成度を総合的に評価し、単位認定する。								
テキスト、教材 参 考 書	参考書として、「この業界・企業でこの「採用テスト」が使われている！」（SPIノートの会、1,944円）を薦める。								
履修条件・ 関連科目	「キャリアセミナー」「キャリアコミュニケーション」を受講していることが望ましい。		備考(教員メッセージ含む)		毎回の課題レポート（7点×8回＝56点）は大変ですが、これをうまく活用し、継続的な学習態度が身につくことを期待しています。				
オフィス・アワー	キャリア形成支援室：水曜日 16：00～17：00								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	隅野 美砂輝 金高 宏文 国重 徹	受講ガイダンス、筆記試験対策（ウェブテスト）				課題レポートの作成（1時間）			
2	〃	企業で求められている人材とインターンシップ				課題レポートの作成（1時間）			
3	〃	企業で求められている人材と採用試験				課題レポートの作成（1時間）			
4	〃	面接試験の傾向と対策（概要）				課題レポートの作成（30分）ウェブテストを各自受験（1時間）			
5	〃	面接試験の傾向と対策（グループディスカッション） 1				課題レポートの作成（1時間）			
6	〃	面接試験の傾向と対策（グループディスカッション） 2				課題レポートの作成（1時間）			
7	〃	面接試験の傾向と対策（グループ面接） 1				課題レポートの作成（1時間）			
8	〃	面接試験の傾向と対策（グループ面接） 2				参考書・資料等の予習・復習（1時間）			

授業科目名 (ナンバリングコード)	キャリア対策セミナー（公務員） (121A0-2302)		授業形態	演習		授業科目区分		キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)		
担当教員名	森 博嗣					補助担当者名				
単位数	1 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数		100		
授業の概要	この授業では、都道府県及び市町村職員（消防、警察を含む）を中心とする公務員採用試験の過去問題の傾向と対策を解説することにより、公務員試験に合格するための勉強方法、受講生が勉強を進める上での基本的な知識や態度を身につけることを目標とする。具体的には、採用試験の模擬問題の正答率が60%以上に高まることを期待している。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	キャリアデザイン力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	・受験希望する職種の採用条件や採用状況をレポートする。・公務員採用試験の過去問題の傾向を整理する。・採用試験の問題を解ける。		○	○				65
		■情意的領域	・公務員の志望の動機やその仕事の意味・意義について自分なりの答えを持てるようになる。・採用試験に向けた継続的な学習態度を身に付ける。	○						35
□技能的領域										
成績評価の基準	授業の取り組みは学習コメントと参加状況（5点×7回＝35点）、採用試験で求められる知識・態度の獲得度は毎授業の復習ノートの作成（5点×7回＝35点）、課題レポート（10点）、模擬テストの成績及び作文提出（20点）の達成度を総合的に評価し、単位認定する。									
テキスト、教材 参 考 書	毎回練習問題を配付するのでテキストは不要であるが、A4ノートを準備すること。参考書として、2022年度版市役所上・中級教養・専門試験過去問500を薦める。（実務教育出版 2750円）									
履修条件・ 関連科目	「キャリアセミナー」「キャリアコミュニケーション」を履修しておくことが望ましい。			備考(教員メッセージ含む)		授業を通じて、自分自身の公務員対策ノートを完成させよう！ それには継続的な復習と自己学習が重要！※復習ノートにより、授業後の自習活動を確認する（5点×7回＝35点） ○実務経験のある教員による授業科目：公務員専門学校経営者				
オフィス・アワー	キャリア形成支援室（キャリア支援係）：水曜日 16：00～17：00									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	森 博嗣	「キャリア対策セミナー」受講ガイダンス				各自希望する公務員採用試験の募集要綱の確認をする。1時間				
2	〃	公務員採用試験の傾向と対策（基礎編1） ※				授業の復習及び宿題を公務員試験対策ノートにまとめて提出する。1時間				
3	〃	公務員採用試験の傾向と対策（基礎編2） ※				授業の復習及び宿題を公務員試験対策ノートにまとめて提出する。1時間				
4	〃	公務員採用試験の傾向と対策（実戦編1） ※				授業の復習及び宿題を公務員試験対策ノートにまとめて提出する。1時間				
5	〃	公務員採用試験の傾向と対策（実戦編2） ※				授業の復習及び宿題を公務員試験対策ノートにまとめて提出する。1時間				
6	〃	公務員採用試験の傾向と対策（実戦編3） ※				公務員模擬試験に向けて総復習、対策ノートの提出をする。2時間				
7	〃	模擬テスト（20点）と解説 ※				模擬試験の復習及び宿題を公務員試験対策ノートにまとめて提出する。1時間				
8	〃	公務員採用試験に向けてのすべきこと（作文提出、面接練習）※				面接事項の確認、エントリーシートの記入方法などを練習する。1時間				

授業科目名 (ナンバリングコード)	ボランティア活動 (121A0-6302)		授業形態	実習		授業科目区分		キャリア形成科目 (キャリアデザイン科目)		
担当教員名	教務委員会						補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数		－		
授業の概要	社会の一員であることを自覚し、社会奉仕の大切さや個人の尊厳、社会連携の理念について認識を深めるために、自発的に、かつ、報酬を得ないで、社会に貢献する活動を実際に体験する。 活動内容は、①被災者への支援活動、②中・高等学校（出身校等を除く。）での指導支援活動、③学外者が主催する公開講座での指導支援活動、④学外者が主催する各種イベント等の支援活動、⑤その他社会に貢献する活動とする。ただし、親族への支援活動並びに生涯スポーツ指導実習及び介護等体験における活動は含めない。									
授業の到達目標 及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (課題解決力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		□認知的領域								
		■情意的領域	人の痛みや社会奉仕の大切さを理解し、人間一人ひとりが違った能力や個性を有していること、社会の一員であることを再認識することによって、自分自身について再認識する契機となり、将来の目標設定や思いやりのある、人の痛みのわかる人間の育成に役立てる。			○			○ (計画書等)	100
		□技能的領域								
成績評価の基準	ボランティア活動計画書、活動報告書、証明書及びレポートを総合的に評価し、単位の認定を行う。 成績の評語は「合格」とし、活動終了時の学年及び学期に単位の認定を行う。									
テキスト、教材 参 考 書	特になし。									
履修条件・ 関連科目	事前に履修登録を行い、ボランティア活動計画書は、活動開始日の1週間前までに提出するものとする。 活動計画書及び報告書の作成にあたっては、クラス担当教員又は指導教員の所見及び教務委員会委員長又は副委員長の確認を要する。 活動にあたっては、事前にボランティア活動賠償責任保険（学生課の窓口で手続き）に加入すること。			備考(教員メッセージ含む)						
オフィス・アワー										
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	教務委員会	ボランティア活動計画書の作成・提出								
2	〃	ボランティア活動								
3	〃	活動報告書・レポートの作成、証明書の提出								